

八王子市議会レポート

No.59 2013年5月25日

## つくる、つくろう通信



陣内やすこ

八王子市議会議員・無所属市民派

北野台在住



編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com

URL http://jinnai.ne.jp/

## 2013年第1回定例議会報告

市議会便りは、議論の  
全容を伝えていません。

## 医療対応型の特養建設に大きな予算(債務負担行為)が計上されました。でも無駄な支出です。

この問題が浮上したのは、予算特別委員会総括質疑のときです。親族が特別養護老人ホームなどを管理運営している T 議員が、予算の記者発表で、目玉施策としてとりあげられた、医療対応を重視する特別養護老人ホームの建設 154 床分に国・都の補助金に上乗せして市独自の補助金 1 床 300 万円分、総額で 4 億 6000 万円余りを予算化することについて「おかしい」と切り出したのです。

委員会は騒然。この施策を提案した自民党議員の名前も明らかになり、なにやら、疑惑だらけであることがあぶりだされました。詳しいことは、陣内やすこの予算に対する意見で述べてありますが、八王子においては、特養をつくるにあたって、あらたな補助金を設定しなくても手を挙げる事業者はある、医療対応(たとえば気管切開とか経管栄養など)の必要な割合が全体の 50%以上という条件は、もはや病院であって、特養ではないことから、この 4 億 6000 万あまりの補助金は、無駄なものである、と指摘しました。政策決定までの時間もとても短く、十分な検討がなされたとは思えないものです。予算がない、といっているにも関わらず、いとも簡単に 4 億円以上もの予算が計上されたことに憤りを感じます。しかも、2 つなされた反対討論において、どちらもこの問題を指摘しているのですが、市議会便りではなんら触れられていないのも変です。

どうなっているの？

## 子宮頸がんワクチン副作用について

3月9日、新聞等でも大きく報道された子宮頸がんワクチンによる副作用問題について、予算委員会で質問しました。なんと、八王子においても、3名の女子生徒に副作用があったとのこと。そのうち、2名の方は、接種後失神というかなり重篤なものです。厚生省は今年3月末までに1196件の副作用報告があったと公表、その発生頻度は、他のワクチンよりかなり高いものであることも明らかになりました。このワクチンは、使用開始後、6、7年ほどしか経ってなくて、効果の検証もなされていませんし、日本人の子宮頸がんの6割程度である16型と18型にしか効かないものであり、かつ、その効果の持続も明らかではありません。3回接種で5万円程度と高価なもので、本当に、接種が必要なワクチンなのか、より十分な検証が求められます。しかし、国は、この4月から定期接種化にしてみました。子宮頸がんが20歳代後半以降の若い女性に増えていることは確かですが、ワクチンに頼らず、がん検診で未然に防止することを、もっと検討すべきです。多摩市では、ホームページで、ワクチンの接種は、あなたが決めることです、と呼びかけ、詳しい情報を提供しています。八王子市にも、しっかりと自己決定が出来るような情報提供を行うよう、求めました。



市民説明会



## 議会基本条例(案) いよいよ大詰め!!!

議会基本条例検討会、そして、素案準備委員会に関わってきました。不十分ながらも、議会としての合意案を議長に提出、議会基本条例特別委員会に検討が引き継がれ、市民説明会、ならびにパブコメが実施されました。多くの市民からのご意見もあつまっているとのこと。これからは、それらの意見に対して、真摯に検討しながら、よりよいものにしていく作業となります。課題としては、請願提出者の意見陳述の機会、陳情の扱い、議会報への発言者の氏名掲載、ひとり会派の扱い、などなどです。議会をもっとわかりやすく、市民に開かれたものにするために、さらにながらばっていきます。\*市民説明会のおり、地方議会は二元代表制なので、与党、野党はない、という発言が議員からありました。そうなのです。市長のチェック機関であることが、議会の第一の使命ともいえるのですが、果たして、現実はどうでしょうか。また、議決機関ですが、市民から白紙委任されているわけではありません。市民の声が大事です。

### 八王子バイオマス・エコセンター悪臭について

昨年7月から稼動している、南大沢に出来た生ごみ堆肥化施設から、近隣の住民を悩ます悪臭が出て、大きな問題となっています。洗濯物が干せない、窓を開けられない、体調が悪くなった、臭い、目がチカチカするなど、センターや市役所に、多くの苦情が寄せられています。健康被害につながるのではないかと心配です。稼動すぐに悪臭が発生。しかし、適切な対応がないまま、今に至り、4月末で生ごみの搬入をストップ。しかし、先日も様子を見に行ってきたのですが、臭いはなくなり、改善されたとはいえない状態です。日量80トンを受け入れられる巨大施設です。そこに大量に持ち込まれた生ごみが十分に発酵しないで、悪臭の原因となっています。マンションなどが立ち並ぶ住宅地から200メートルぐらいしか離れていないところに設置されているということ自体、当初から住民の方々は不安視していたのです。民間事業者の事業とはいえ、農水省から8億円余りの補助金を得て設置したプラントであり、市の都市計画審議会にかけた事案です。事業者ならびに行政の責任ある対応として、一刻も早く、住民を苦しめる悪臭の除去が必要です。また、健康被害をもたらす化学物質が出ていないかの第3者機関による定期的な検査と公表が求められます。

陣内の意見：生ごみの堆肥化は、こんなに大きなプラントでやるものではないのでは・・・

### ■陣内やすこの一般質問

- ・「特養で死ぬ」ということ
- ・生活保護費引き下げ問題(第2回定例議会へ)
- ・若者が希望の持てる街(次回以降へ)

医療対応そして看取りを行う特養建設に補助金がついてしまったことから、特養で行われる看取りとは、どういうことなのか、どういった配慮が必要で、どんな人身体制であれば、尊厳を維持しながらの看取り介護が出来るのかを問いました。産まれるのも病院、そして亡くなるのも病院という今の時代、本当にそれでいいのか、という思いです。口から食べ物がとれなくなったらどうするのか、胃ろうの是非についても、大きな課題です。しかし行政はなんらその解答を持っていません。私たち一人一人が考えなければならないことなのです。だからこそ、拙速に特養での看取りを進めるような施策はSTOPです。

### 夢きっずのその後・・・

12月の議会で質問し、大きな混乱を起こしていたセレオ北館の夢キッズとキドキドの利用方法が4月より変更になりました。時間区分による人数制限をなくし、先着1日60組の受付、となりました。これで、少しは改善されたかな。でも、身近な子育て広場がもっとほしいな。

### 議会日程

- 5/28 総務企画・厚生委員会
- 5/29 文教経済・都市環委員会
- 6/3 議会召集告示
- 6/10 本会議1日目(議長選)
- 6/11～6/26 一般質問・委員会

\*後半2年間のスタートです

### 編集後記

■北野台で、携帯基地局建設問題浮上。ソフトバンクが設置したいと申し出てきたのですが、2回にわたる説明会で健康不安を訴える多くの声、地区住民の700筆余りの反対署名などがあつたことから、設置をあきらめました。電磁波から市民の健康を守る条例を求める請願が議会で採択されたにも関わらず、市は条例を作らないと決定。しかしこういったことを繰り返さないためにも条例は必要です。■都議選、参議院選挙があります。憲法改正反対、原発再稼働させない、女性蔑視反対、そんな人を選びたいです。何をやるのか、見極めて投票しよう。(や)

